

令和6年5月30日

江戸川流域治水協議会、中川・綾瀬川流域治水協議会
資料3

広報の取組と展開について

関東地方整備局
江戸川河川事務所

流域治水における「広報」の重要性

流域治水はbyALL

- 気候変動による水災害の頻発化・激甚化に備えて、**流域のあらゆる関係者で治水対策に取り組むこと**が求められる
- 流域のあらゆる関係者で取り組む（=取組主体を増やす）には、「構成員による着実な取組」×「**広報活動により、その取組を知っていただく機会を増やす**」ことが必要



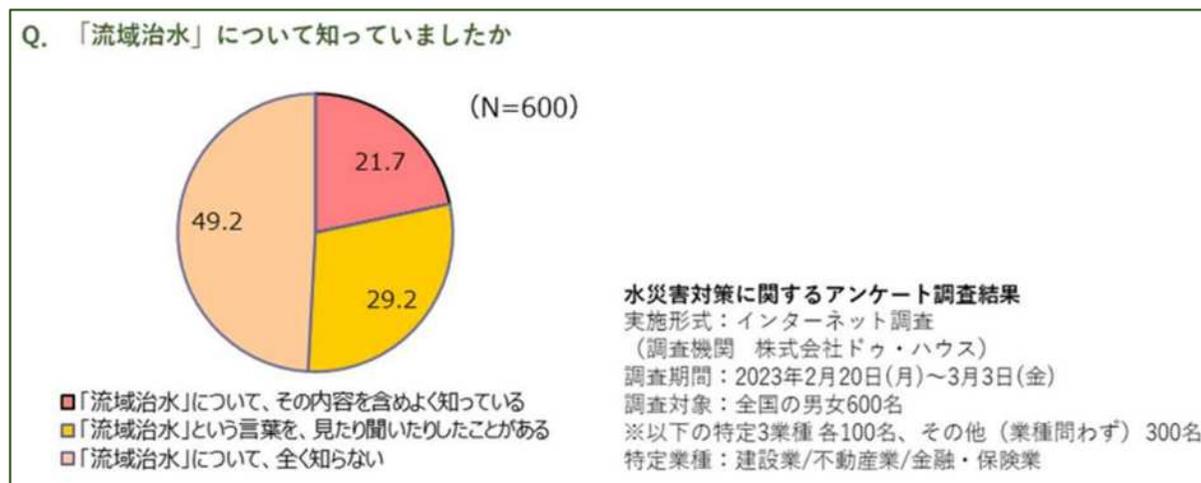
気候変動による影響



国土交通省『流域治水はby ALL』

流域治水の認知度が低い

- 一方で、アンケート調査によると、約8割の人が流域治水の内容を知らない結果となっている



図：世論調査結果の例(流域治水の認知度)

広報強化のねらい

流域治水の広報を強化することで、水災害のリスクや流域治水の目的など**必要性を理解**する人が増え、**流域治水に取り組む主体が増える**ことを目指します。これらにより、流域全体で流域治水の取組が推進され、**水害に強い流域（まち）**となるよう目指します。



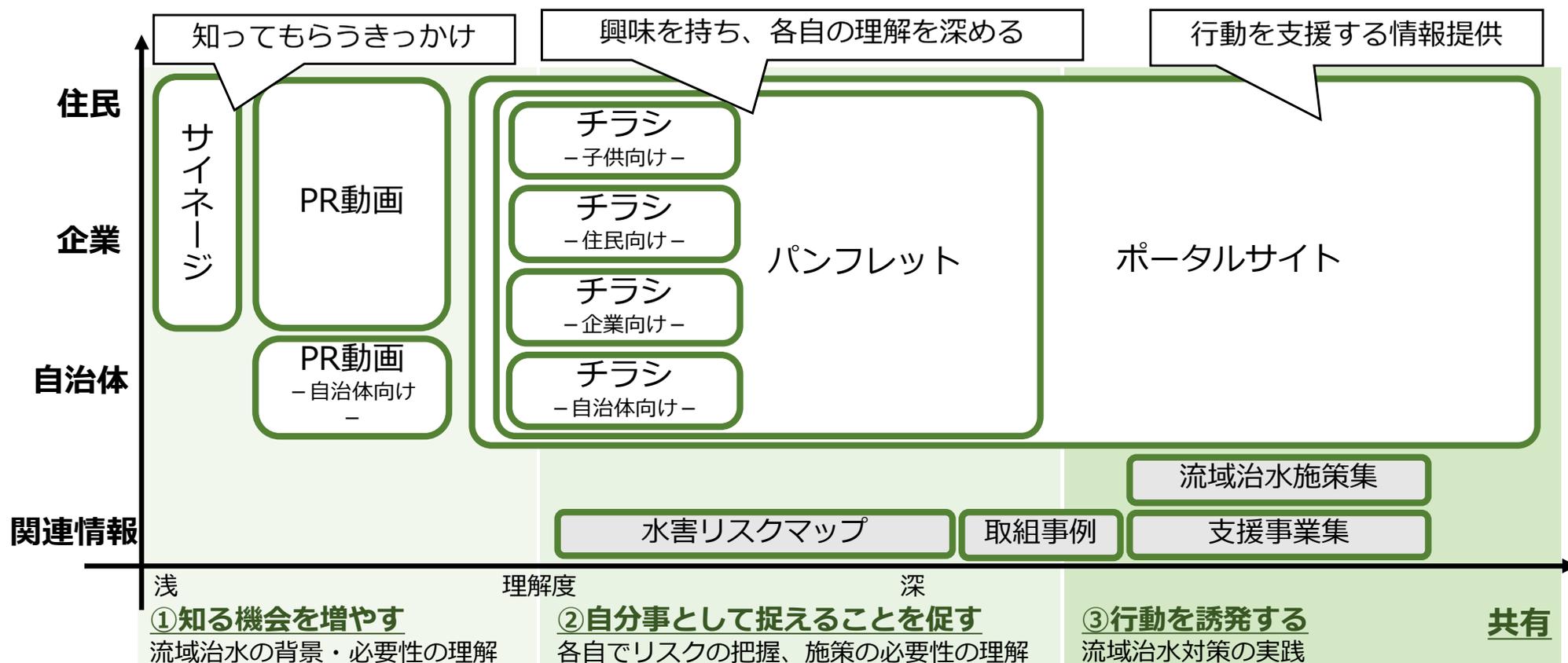
国土交通省「水災害を自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす総力戦の流域治水をめざして」提言

➡ **流域治水の広報強化には広報も総力戦で行う必要があります！**

江戸川河川事務所で作成している「広報ツール」の位置づけ

水災害を自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やすために、流域治水を知ってもらうきっかけや、必要性を理解し興味に繋がる、実践するなど①知る、②自分事化、③行動のそれぞれの場面を支援するツール・基盤を作成。

- ① **知る機会を増やす** : まちなか、SNS等における「流域治水」のタッチポイントを増やす
- ② **自分事と捉えることを促す** : 水災害リスクを正しく理解し、正しく備える(様々な主体による施策を知る)
- ③ **行動を誘発する** : 主体的な行動が進むための環境整備 (プラットフォーム)



➡ 構成員のみなさまには、これらを活用した**広報活動の協力をお願いいたします!**

広報ツールの使い分け

広報ツールの配布先と利用場面（役割・目的）等を整理しています。広報の相手、目的に応じて各ツールの活用をお願いします。

広報主体	広報先	広報ツール	広報の役割・目的 (Why)	いつ・どこで (When・Where)	何を (What)	どうやって (How)	該当 頁
流域治水 協議会 構成員	流域住民 (不特定多数)	サイネージ 静止動画	<ul style="list-style-type: none"> 「流域治水」という言葉を知ってもらい、興味を持ってもらうきっかけになる 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体庁舎の待合スペース 鉄道駅・道の駅 首都圏外郭放水路、商業施設 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水を簡潔に説明 住民ができることを簡単に紹介 	目にとめてもらえるよう、カラフルで親しみやすいデザイン	P.5
	流域住民 (高校生以上を想定)	チラシ	<ul style="list-style-type: none"> 「流域治水」に興味を持った人（チラシを手に取った人）に、簡潔に内容を知ってもらい 実践するきっかけとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体庁舎待合スペース、鉄道駅・道の駅、商業施設等のチラシラック 河川のイベント、学校での配布 自治会での配布 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水と必要性を簡潔に説明 住民ができることを簡潔に説明 	チラシラックに置いた際にも目を引くようデザイン	P.6
	少し興味を持って人へ	PR動画	<ul style="list-style-type: none"> 「流域治水」に興味を持った人（チラシを手に取った人）に、簡潔に内容を知ってもらい 総力戦であることを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 関連動画を見ているときに 流域の河川関係のイベント 事務所公式YouTube ポータルサイト 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から流域が守られていることを説明 住民ができることを簡潔に説明 	ナレーションと1行説明文で理解しやすく工夫	P.7
	流域住民 (高校生以上を想定)	パンフレット	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水に興味を持ち始めている方へ、より詳しい情報を知ってもらいきっかけとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体庁舎待合スペース、鉄道駅・道の駅、商業施設等のチラシラック 河川のイベント、学校での配布 	<ul style="list-style-type: none"> 流域の特性や歴史を踏まえた必要性を説明 実際の取組と、実践にあたっての必要情報等を紹介 	チラシラックに置いた際にも目を引くようデザイン	P.8
	詳しく知りたいと思っている人へ	ポータルサイト	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水に興味を持ち始めている方へ、より詳しい情報を知ってもらいきっかけとなる もっと知りたい、積極的に取り組みたいと思うきっかけとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水を詳しく知りたいとき スマートフォン、PCがあればいつでもどこでも 	<ul style="list-style-type: none"> 各構成員で行っている流域治水の取組や、イベント情報などを配信 	PC、スマートフォンでも見やすい画面になるよう設計 構成員が最新情報を投稿できる機能を追加	P.9
江戸川 河川事務所	自治体 土木・防災 部署	自治体向け チラシ	<ul style="list-style-type: none"> 自治体内部、住民や企業への広報活動を積極的に取り組むきっかけとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水協議会で配布 河川等のイベント 自治体庁舎待合スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水とその必要性を改めて簡潔に説明 住民や企業への広報や情報提供等、サポートを依頼 	チラシラックに置いた際にも目を引くようデザイン	P.6
	自治体 その他部署	PR動画	<ul style="list-style-type: none"> 自治体内部、住民や企業への広報活動を積極的に取り組むきっかけとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水協議会で配布 河川等のイベント 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水とその必要性を改めて簡潔に説明 住民や企業への広報や情報提供等、サポートを依頼 	ナレーションと1行説明文で理解しやすく工夫	P.7
自治体 商工・福祉 部署	流域企業 防災・施設・ 広報・CSR担 当者	企業向け チラシ	<ul style="list-style-type: none"> 企業が流域治水の意義や、総力戦かつ自分事で取り組む必要性を知るきっかけとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水協議会で配布 ポータルサイト 自治体庁舎待合スペース 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水の取組の動向を紹介 企業にもメリットがあること（節水、SDGs貢献）を紹介 	チラシラックに置いた際にも目を引くようデザイン	P.6

広報ツールの紹介

①サイネージ静止動画 ～不特定多数の方に流域治水を知ってもらうきっかけ～

広報の役割・目的

- 「流域治水」を知らない住民、不特定多数に向けて、「流域治水」という言葉を知ってもらうツールとしてサイネージを3種類作成

ポイント

- 30秒で簡潔に整理
- あらゆる世代の人が目にとめてもらえるよう、カラフルで親しみやすいデザイン



誰が(Who)	構成員→ 流域住民（高校生以上）に
誰に(Whom)	
いつ(When)	<ul style="list-style-type: none"> • 普段の生活の中で
どこで(Where)	<ul style="list-style-type: none"> • 自治体庁舎の待合スペース • 鉄道駅・道の駅 • 首都圏外郭放水路、商業施設

広報ツールの紹介

②チラシ ～少し興味を持っている人に簡単に知ってもらおう～

広報の役割・目的

「流域治水」の言葉に興味を持った人（チラシを手にとった人）に、簡潔に内容を知ってもらうためのチラシを2種類作成

誰が(Who) 誰に(Whom)	構成員→流域住民(高校生以上)に 河川事務所→自治体職員へ
いつ(When)	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水という言葉が気になった時に 流域の河川関係のイベント 学校などでの配布
どこで(Where)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体庁舎や施設の待合スペース 鉄道駅・道の駅 首都圏外郭放水路、商業施設 自治会での配布

(表面) 共通

ポイント

- 流域治水とは何か、流域治水の必要性、どのような対策があるのか等、1枚で流域治水のことが簡潔にわかるように作成
- 自治体、企業、住民とチラシの対象者毎に記載する情報を選定

流域治水
River Basin Disaster Resilience and Sustainability by All

水害に対して安全なまちづくり

流域治水とは何か、流域治水の必要性、どのような対策があるのか等、1枚で流域治水のことが簡潔にわかるように作成

自治体、企業、住民とチラシの対象者毎に記載する情報を選定

(裏面) 住民向け

「流域治水」水害に対して安全なまちづくり～ 3つの対策の柱 地域の住民のみなさんも「流域治水」の主役です!

1 水害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

2 被害対象を減少させるための対策

3 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

これからも大好きな「まち」で川と共に暮らしていくためにできることから始めましょう!

(裏面) 自治体職員向け

「流域治水」水害に対して安全なまちづくり～ 3つの対策の柱 流域自治体のみなさんも「流域治水」の主役です!

① 水害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

② 被害対象を減少させるための対策

③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

住民や企業のみならず自治体へのサポートをお願いします!

これからも大好きな「まち」で川と共に暮らしていくためにできることから始めましょう!

広報ツールの紹介

③PR動画 ～少し興味を持っている人に簡単に知ってもらおう～

広報の役割・目的

- 「流域治水」の言葉に興味を持った人が、流域治水の内容を簡単に把握できるPR動画を作成

ポイント

- 3～5分程度で伝わる内容
- 河川事務所の取組を見て、日頃から流域が守られていること、それでも総力戦で流域治水を進める必要があることがわかる



誰が(Who) 誰に (Whom)	構成員→流域住民(高校生以上)に
いつ (When)	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水という言葉が気になった時に 関連動画を見ているときに 流域の河川関係のイベント
どこで (Where)	<ul style="list-style-type: none"> 事務所公式You Tube ポータルサイト イベントのモニター 首都圏外郭放水路

広報ツールの紹介

④パンフレット ～興味を持っている人、理解したいと思っている人に詳しく知ってもらう～

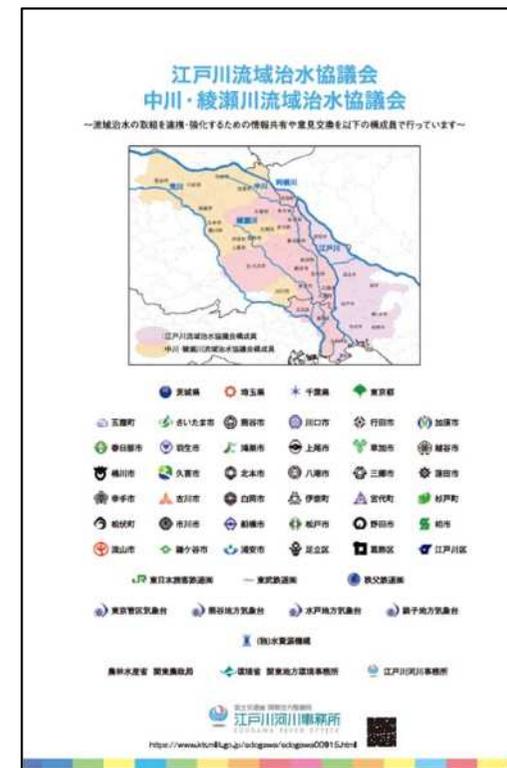
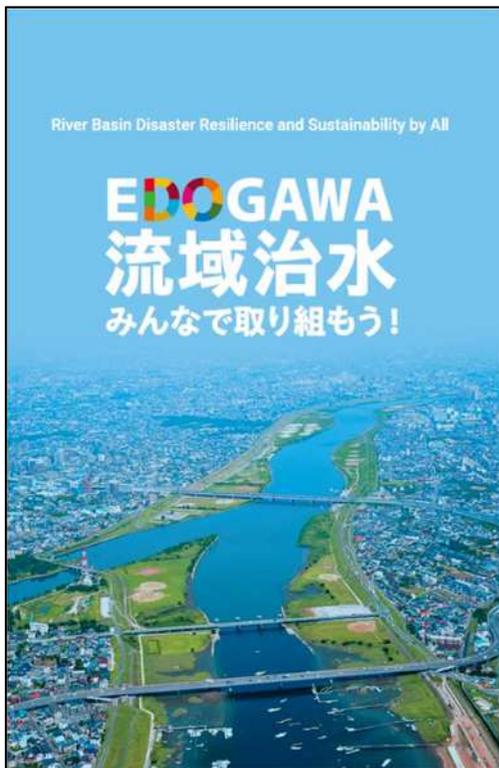
広報の役割・目的

- 流域治水に興味を持ち始めている方へ、チラシ、PR動画等より詳しい情報を知ってもらうためのパンフレットを作成

ポイント

- QRコードなどで関連サイトにアクセスができる
- 背景、必要性、取組内容、実際の取組、関連サイトなど、詳しく知ることができる

(表紙)



誰が(Who) 誰に(Whom)	構成員 → 流域住民(高校生以上)に
いつ(When)	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水を詳しく知りたいとき 流域の河川関係のイベント 学校などでの配布
どこで(Where)	<ul style="list-style-type: none"> 自治体庁舎や施設の待合スペース 首都圏外郭放水路

広報ツールの紹介

⑤ポータルサイト

～興味を持った人にもっと知りたい、やってみたくて感じてもらう～

広報の役割・目的

- 流域治水に関する情報が集約されており、楽しく学べる・実践できるポータルサイトを作成
- 構成員が取組状況やイベントなど、**最新情報をサイトへ登録・共有**し、対策を活発化させる

ポイント

- スマートフォンでも見やすい画面とした
- 何がどこから見られるかわかるように、メニューを常時表示
- 支援制度など関連システムへアクセスできるようにリンクを充実

誰が(Who) 誰に(Whom)	構成員→流域住民(高校生以上)に
いつ(When)	流域治水を詳しく知りたいとき
どこで(Where)	スマートフォン、PCがあればいつでもどこでも



参考 広報のツールに関するアンケート 結果

1. 調査概要

アンケートにご協力いただいた構成員のみなさま、 ありがとうございました。

【実施目的】

- 江戸川河川事務所では流域治水の取組推進にあたって、**少しでも多くの皆さんに「流域治水」を知っていただく**ため、広報で活用する**ツール（チラシ・パンフレット・動画・ポータルサイト等）**を作成してまいりました。
- 本調査は、今年度作成した**広報ツールに対して活用方法や導入効果についてご意見を伺い、今後の広報展開に参考にさせていただきたく**ことを目的として、実施するものです。

【調査概要】

- 期間：令和6年2月29日（木）～3月15日（金）
- 対象：江戸川、中川・綾瀬川流域治水協議会構成員
- 内容：各種広報ツールの活用方法に関するご意見・ご要望
- 手法：Microsoft FormsによるWEBアンケート形式

【回答数】

- 防災担当向け：**34機関**／54機関（63%）

【質問概要】

- 各種ツールへのご意見
- 今後の広報展開に向けて

The screenshot shows a Microsoft Forms survey interface. The title is '江戸川流域治水/広報ツールに関する意見照会'. The survey text explains the purpose: to gather feedback on the use and effectiveness of communication tools (brochures, pamphlets, videos, portal sites) created for flood prevention in the Tone River basin. It includes a link to the survey: <https://ncck.box.com/s/uljw27vze1xca362spoe2wfwykd45of>. The form is currently in the '質問' (Question) section, with 36 responses recorded. The first question is '1. 団体名' (Organization Name), with a text input field below it.

2. 結果概要

回答数 (n = 34)

No.	ツール	内容	質問	回答数： はい	回答数： いいえ	特徴的な回答（改善項目）
1-1	チラシ	周知・理解	流域治水の取り組みの 概要を把握 することができましたか？	30		<ul style="list-style-type: none"> 田んぼダムなどの農業関連の流域における対策について、流域全体で取り組むことを強調するように写真付きで示したほうがよいと感じたため。
1-3		自機関 取組推進	流域治水の取組みは 自機関でもできそう と感じましたか？	20		<ul style="list-style-type: none"> ハード面での対策には多額の費用を要しすぐに取り組むことが難しい。 各対策が各部署で完結できてしまうため、連携することの重要性が伝わりづらいと感じた。
1-5		個人 取組推進	（住民の立場で）流域治水の取組みが 自分（個人）にもできそう と感じましたか？	28	1	<ul style="list-style-type: none"> これだけを読んで、住民の方々が行動に移していただけるかは少し疑問です。
2-1	パンフレット	理解	流域治水の具体的な取組み 内容の理解 が深まりましたか？	31		<ul style="list-style-type: none"> 従来の治水部署(河川や下水道)の対策が先に来るので、軽く読むとみんな取組むという意識にならないかもしれないと感じた。
3-1	デジタル サイネージ	認知	流域治水という 用語が目 を引いて、 印象に残りそう でしょうか？	27	2	<ul style="list-style-type: none"> 「危ない場所に住まない」という表現があるが地域にそぐわないためやめてほしい。 画面の切り替わりが少し早く、初見の人には説明を追いきれない可能性があると感じました。
4-1	PR動画	関心度向上	流域治水の具体的な取組み 内容の理解 が深まりましたか？	30		<ul style="list-style-type: none"> 音声解説が多いコマのコマ内文章がわかりづらい。
4-3		理解度向上	日ごろ 防災や治水に関わってない方にもわかりやすい内容 となっていますか？	25	1	<ul style="list-style-type: none"> 排水機場や河道掘削など、専門用語は一般の住民にとってなじみが薄いと考えられるので、平易な言葉に置き換える方法もある。
4-5		普及啓発	職場や知人・友人等へ 広めていきたい と感じましたか？	23	2	<ul style="list-style-type: none"> PR動画のコンセプトが、チラシやパンフレットに比べ不明瞭と感じた。
5-1	ポータル サイト	内容構成	ポータルサイトの内容構成は 分かりやすい構成 になっていますか？	31		<ul style="list-style-type: none"> 構成員向けのページは、作成の目的や、業務にどう活用していくのかイメージがつかめない。
5-3		操作性	ポータルサイトで知りたい内容が 容易に分かる操作性 になっていますか？	29		<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンで見たときの操作がやりづらかったため。

3. 対応方針

No.	ツール	内容	質問	回答数： はい	回答数： いいえ	特徴的な回答（改善項目）	対応方針
1-1	チラシ	周知・理解	流域治水の取り組みの 概要を把握 することができましたか？	30		<ul style="list-style-type: none"> 田んぼダムなどの農業関連の流域における対策について、流域全体で取り組むことを強調するように写真付きで示したほうがよいと感じたため。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体事例について写真を提供してもらいチラシやパンフレットに入れ込む。
1-3		自機関 取組推進	流域治水の取組みは 自機関でもできそう と感じましたか？	20		<ul style="list-style-type: none"> ハード面での対策には多額の費用を要しすぐに取り組むことが難しい。 各対策が各部署で完結できてしまうため、連携することの重要性が伝わりづらいと感じた。 	—
1-5		個人 取組推進	（住民の立場で）流域治水の取組みが 自分（個人）にもできそう と感じましたか？	28	1	<ul style="list-style-type: none"> これだけを読んで、住民の方々が行動に移していただけるかは少し疑問です。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の方が実施できる行動をチェックリスト形式にする。
2-1	パンフレット	理解	流域治水の具体的な取組み 内容の理解 が深まりましたか？	31		<ul style="list-style-type: none"> 従来の治水部署(河川や下水道)の対策が先に来るので、軽く読むとみんなで取組むという意識にならないかもしれないと感じた。 治水部署の対策は文字が大きく写真も見やすいのに対して、流域治水としてアピールしたい他部署や住民の対策が小さいことも理由。 	<ul style="list-style-type: none"> 流れは変更せず、1～2ページにも“みんなが主役”という旨の説明を追加する。 治水部署の対策とバランスを取りながら、他部署や住民の対策部分は情報量が多いため強弱をつけたレイアウトとする。

3. 対応方針

No.	ツール	内容	質問	回答数： はい	回答数： いいえ	特徴的な回答（改善項目）	対応方針
3-1	デジタルサイネージ	認知	流域治水という用語が目を引いて、印象に残りそうでしょうか？	27	2	<ul style="list-style-type: none"> 「危ない場所に住まない」という表現があるが地域にそぐわないためやめてほしい。パンフレットのように被害対象を減少させるために、リスクの低いエリアへ住まいを誘導したり、浸水範囲を減らしたりします。」など丁寧な説明をしてほしい。 画面の切り替わりが少し早く、初見の人には説明を追いきれない可能性があると感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットでの表現に合わせて表現を修正する。 動画の長さは30秒版だけでなく、45秒版の作成をする。
4-1	PR動画	関心度向上	流域治水の具体的な取組み内容の理解が深まりましたか？	30		<ul style="list-style-type: none"> 音声解説が多いコマのコマ内文章がわかりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ナレーションでコマの間に内容を補足している。動画でコマとナレーションのバランスを確認し、必要に応じて微調整する。
4-3		理解度向上	日ごろ防災や治水に関わっていない方にもわかりやすい内容となっていますか？	25	1	<ul style="list-style-type: none"> 排水機場や河道掘削など、専門用語は一般の住民にとってなじみが薄いと考えられるので、平易な言葉に置き換える方法もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民向けの動画については、専門用語の使用は最小限にとどめ、可能な限り平易な言葉を使用する。
4-5		普及啓発	職場や知人・友人等へ広めていきたいと感じましたか？	23	2	<ul style="list-style-type: none"> PR動画のコンセプトが、チラシやパンフレットに比べ不明瞭と感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水協議会等を通じて、各種ツールのコンセプトを含めて、丁寧に担当者へ説明する。
5-1	ポータルサイト	内容構成	ポータルサイトの内容構成は分かりやすい構成になっていますか？	31		<ul style="list-style-type: none"> 構成員向けのページは、作成の目的や、業務にどう活用していくのかイメージがつかめない。 	<ul style="list-style-type: none"> 流域治水協議会等を通じて、各種ツールのコンセプトを含めて、丁寧に担当者へ説明する。
5-3		操作性	ポータルサイトで知りたい内容が容易に分かる操作性になっていますか？	29		<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンで見たときの操作がやりづらかったため。 	<ul style="list-style-type: none"> レスポンスブル・ウェブ・デザインを採用し、スマートフォンのサイズにも合わせたポータルサイトとする。

4. 今後の広報展開

- ✓ Q.6-2 チラシ・パンフの配布：ほぼ全機関で配布可能。（要検討機関には直接調整）
- ✓ Q.6-3 チラシの差込配布：半数程度で可能。（要検討機関には直接調整）
- ✓ Q.6-4 イベント配布：イベントカレンダーを作成し、各イベントでの広報活動を検討
- ✓ Q.6-5 イベント外配布：自治会防災組織への配布、道の駅での配布、ショッピングモール（レイクタウン等の商業施設）
- ✓ Q.6-6 河川事務所との連携：マイ・タイムライン講座や自治体の避難訓練への参画、SNSの活用
- ✓ Q.6-7 広報活動の好事例：气象台のお天気フェア、社員の仕事内容・思いの広報
- ✓ Q.6-8 ご意見・ご要望：子供向けのチラシ（小学生を対象）、新単元授業に悩む教員向けチラシ